

予備自衛官 即応予備自衛官

処遇改善

予備自衛官・即応予備自衛官

募集中!

 予備自衛官	現行	1年あたり 約 9 万円	改定後	1年あたり 約 23 万円	2.5倍 UP
		1任期(3年)あたり 約 27 万円		1任期(3年)あたり 約 68 万円	

※いずれも年間5日の訓練に出頭した場合の金額

 即応予備自衛官	現行	1年あたり 1士 2尉 約 54.4~65.8 万円	改定後	1年あたり 約 81~108 万円	1.6倍 UP
		1任期(3年)あたり 1士 2尉 約 163~197 万円		1任期(3年)あたり 約 242~325 万円	

※いずれも年間30日の訓練に出頭した場合の金額

進学支援給付金		現行		改定後	1年あたり 約 36 万円	7.4倍 UP
任期制自衛官の方向け	予備自衛官	1年あたり 約 4.8 万円	1年あたり 約 54 万円		1.8倍 UP	
	即応予備自衛官	1年あたり 約 29.1 万円	拡大			
	支給対象	大学	大学、専門職大学、大学院、短大(専攻科)、高専(専攻科)、専門学校(4年制)			

進学支援給付金: 任期満了後、国内の大学等に在学中に即応予備自衛官、予備自衛官に任用されている場合に支給される給付金

予備自衛官等が使用する**被服の計画的な更新や装具等の更新も促進**

予備自衛官等制度の概要

	予備自衛官	即応予備自衛官
有事の際の役割	後方地域の警備、後方支援等の任務に就く	第一線部隊の一員として任務に就く
招集区分	防衛招集、国民保護等招集 災害招集、訓練招集	防衛招集、国民保護等招集 治安招集、災害等招集、訓練招集
採用年齢	1佐	2尉～1曹
	2佐～2曹	2曹～3曹
	3曹	士
	62歳未満	55歳未満
		53歳未満
		52歳未満
		50歳未満
訓練日数	5日／年	30日／年



予備自衛官の訓練



●サービスの宣誓

1日間訓練

自衛隊を退職して1年未満で採用された場合は、初年度出頭は各地方協力本部等で実施する『1日間訓練』のみです。仕事や職場環境に慣れる時間を十分に取り、次年度以降の『5日間訓練』出頭に向けて準備できます。



即応予備自衛官の訓練

招集訓練の一例

個人としての訓練（各個訓練）

Aタイプ

精神教育
特殊武器防護等
2日間



●訓練開始式

Bタイプ

格闘訓練
小火器射撃
体力検定等
2日間×3回



●射撃訓練

Cタイプ

特技訓練等
2日間×4回



●空輸訓練



●精神教育



●格闘訓練



●砲手訓練

部隊としての訓練（部隊訓練）

Dタイプ

班レベルの
部隊訓練
4日間×1回



●対空戦闘訓練

Eタイプ

小隊レベルの
部隊訓練
3日間×2回



●迫撃砲訓練

Fタイプ

中隊レベルの
部隊訓練
4日間×1回



●積載訓練



●燃料交付



●小火器戦闘射撃



●中隊検閲

即応予備自衛官の招集訓練のポイント

■訓練は主として土日曜日を中心に設定されます。■複数の訓練パターンから選択できます。

予備自衛官・
即応予備自衛官を
募集しています

予備自衛官等制度
パンフレットは
こちらから



各部隊の人事担当へ
お問い合わせください